

特集

自立・自律を目指して地域に根差した活動を行っているクラブ

体育協会や他クラブとの連携を力に 会員の会費による安定した運営

城下町スポーツクラブ

「城下町スポーツクラブ」は助成金などに頼らない、会員の会費によるクラブ運営を行っているクラブです。行政や市体育協会、他の総合型スポーツクラブとの連携も強く、指導者派遣や地域に根差した活動を地道に行っています。

🏆 キーポイント

- ◎公認スポーツ指導者による指導と指導者派遣
- ◎「体験会」「イベント」開催による知名度アップ
- ◎行政や体育協会との連携・バックアップ

1 | クラブ概要

城下町スポーツクラブ(以下、城下町クラブ)は、平成18年1月に小田原市・足柄下郡スポーツ指導者協議会の有志が設立準備委員となり、クラブ設立の準備を開始しました。

平成18年度・19年度には日本体育協会の「育成指定クラブ委託事業」を実施し、平成20年6月に「城下町スポーツクラブ」を設立しました。

「会員相互の協力により、地域住民の健康増進、スポーツを通じた青少年の健全な心身の育成と地域の活性化、スポーツ指導者の活躍の場の創造を図ること」を理念として活動しています。

また、日本体育協会公認スポーツ指導者資格を持った指導員が約25名在籍し、クラブ外への指導者派遣にも力を入れています。



2 | 会費だけでクラブ運営

助成による収入がほとんどないため、収入はほぼ会費のみです。大人が月額2,000円、子ども1,500円で、会員は月曜日・木曜日に行われているどのスポーツ教室にも参加可能です。ただし、ソフトテニスは外のコートを使用し、天候に左右されるため、1回500円のチケット制で行われています。また、会員でない方が参加できる体験教室も1回500円で行っています。

活動場所は、小田原アリーナをメインに、小田原テニスガーデン、東富水小学校、富水小学校、三の丸小学校の体育館を使用しています。小学校の体育館は、いずれも学校施設開放により無料です。一方、小田原アリーナは週2回使用していますが、優先使用が可能となっているのみで減免はなく、体育館半分のスペース・卓球台・バドミントン用具を含めた使用料を支払っています。その他に、フィットネススタジオやテニスコートも通常の利用料を支払い使用しています。

会員を増やすための活動としては、年に1回、小学生を対象とした「体験会」を2週間行っており、そのためのチラシを市内のすべての小学校の児童に配布しています。体験会の効果は大きく、今年も約40名の小学生が会員として入会してきました。

設立当初は、地域から生まれたクラブではないため、地域に密着するかどうか不安を抱えてのスタートでした。しかし、スポーツをやったことがない人や、学生時代にスポーツをやっていた人が昔を思い出し、時間にゆとりができた退職後などに入会するケースも増えてきました。

また、スポーツだけでなく、お楽しみイベントとして、ハイキングやサツマイモ作り、バーベキューを行うなど、地域に生まれた活動も続けられています。特に、昨年まで行っていたサツマイモ作りでは、畝作りに始まり、苗植え、草

むしり、収穫、そして育てたサツマイモを食べるという食育を兼ねたイベントでした。今年からは、収穫手のいないみかん畑でのみかん狩りに変わりますが、今後も食育を兼ねたイベントを続けていく予定です。

●平成27年度事業計画

①各種スポーツ教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・卓球（初心者卓球教室・小学生卓球教室） ・バドミントン（エンジョイバドミントン・小学生バドミントン教室） ・ソフトテニス（ためしてソフトテニス） ・エアロビクス&ストレッチ（らくらくエアロ&ストレッチ） ・ダンベル体操 ・おやこたいそう ・東富水小学校体育館開催のスポーツ教室（バドミントン・初心者ジョギング） ・富水小学校体育館開催のスポーツ教室（バドミントン・らくらくエアロ） ・三の丸小学校体育館開催のスポーツ教室（ジュニアバドミントン）
②イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> ・親睦ハイキングツアーの企画開催 ・親睦みかん狩りの企画開催
③小田原市・公財）小田原市体育協会・KSN等スポーツ関係団体との協力・連携 <ul style="list-style-type: none"> ・小田原市スポーツ課との体験会の開催 ・キッズマラソン大会のスポーツイベント協力 ・KSN交流会へ参加・協力
④地域住民の交流の場の提供やボランティア参加 <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいの集い ・早川河川の清掃事業の協力
⑤県スポーツ課の依頼事業 <ul style="list-style-type: none"> ・西湘体育センター開催のスポーツコミュニケーションデー指導者派遣 ・3033運動の開催
⑥スポーツに関する講習会、研修会の開催
⑦スポーツ指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・公認スポーツ指導者資格取得支援 ・県西地域スポーツ指導者協議会主催の義務研修の協力
⑧PR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌掲載

※KSN=神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク

3 | 指導者もスキルアップを図る

スポーツ指導者協議会の有志が設立した城下町クラブは、「指導者の活躍ができる場を作ろう」「指導力を生かしてスポーツ人の底辺の拡大をしていこう」というのがモットーとなっています。そのため、エンジョイバドミントン、初心者卓球教室、ダンベル体操教室、らくらくエアロ&ストレッチなど、城下町クラブの会員は日体協公認スポーツ指導者の資格を持った指導員による指導がいつでも受けられます。また、城下町クラブの指導者は、神奈川県立体育センター、小田原市体育協会の依頼事業や他の総合型クラブの要請で指導に出かけることも多く、体協や他クラブと連携しています。指導者の活躍の場を広げるため、指導者自身も指導力を上げるために審判の資格を新たに取得したり、個人的にエアロビ教室に通ったり、ジュニアスポーツ指導員の資格を取ったりと一層のスキルアップを図っています。



らくらくエアロ&ストレッチ教室



初心者卓球教室の様子

4 | 運営の力となっている行政や体育協会との連携とバックアップ

活動場所のメイン会場となっている小田原アリーナには小田原市体育協会と小田原市スポーツ課の事務局が併設されており、職員の皆さんとコミュニケーションを密に取ることができます。このことはクラブ運営の大きなキーポイントとなっています。先日もスポーツ課と地域政策課が合同で企画したラジオ体操に、城下町クラブから指導者を派遣しました。その様子は小田原市の広報誌でも紹介されています。また、神奈川県では30分間、週に3回、3か月間継続して運動を行い、スポーツを暮らしの一部として習慣化する「3033(サンマルサンサン)運動」を推進していますが、神奈川県体育センターの依頼により3033運動普及員の資格を持った城下町クラブのスタッフ15～16人を派遣し指導を行っています。

その他、体験会用のチラシやクラブのカレンダー制作などの際には小田原市スポーツ課の印刷機の使用をはじめ、市体育協会の行事ではイベントの企画を担当させてもらうなど、体育協会および市との連携とバックアップがクラブ運営において大きな支援になっています。



小田原市の広報誌にラジオ体操の企画が掲載された



5 | 後継者づくりが今後の大きな課題

会費収入でクラブの運営を賄っていますから、指導者への謝金も決して高くありません。スタッフもパート代のみで、会場の使用料を支払うと運営費を使い切ってしまうのが現状です。今のスタッフがこの現状に慣れてしまい満足していることに危機感を覚えます。これでは将来を担う若者の雇用が困難であり、今後の大きな課題となっています。しかし、高齢者や子どもたちに負担のかからない会費を考えると、現状の会費を値上げすることはできません。また、会費の銀行振り込みや引き落としもお年寄りにとっては不便なことから、月謝袋で現金で集金という形をこれからも継続していくつもりです。課題はありますが、スタッフである私たちにとって城下町クラブの運営はある意味生きがいの一つとなっています。

(クラブマネージャー／野田ひろみ)

クラブプロフィール

- 設立：平成20年6月29日
- 所在地：神奈川県小田原市
- 運営：会員数250名(平成27年6月現在)、予算規模420万円(平成26年度)
- 特徴：公認スポーツ指導者の資格を持った指導員が多数在籍しており、城下町クラブだけでなく要請があればどこへでも指導に出かけています。また、運営スタッフ13人中11人が女性で、細かいところまで心配りのできるクラブ

連絡先：〒250-0872 神奈川県小田原市中里19-4 川口喜代美気付
TEL：090-8683-5444 FAX：0465-42-4643
Eメール：hikiyomi000@hotmail.com
ホームページ：<http://jsc-odawara.sakura.ne.jp/>